

会議名	令和2年度 第1回	全国LVL協会 技術部会 防耐火委員会			確認	作成
日 / 時	2020年 8月25日 (火)		10時～12時			
場 所	WEB会議					
1.	委員長	東京大学生産技術研究所	久) 腰原幹雄	教授		
2.	委 員	桜設計集団	安井 昇	代表		
3.		ビルディングランドスケープ	山代 悟	建築家		
4.		藤田K林産技術士事務所	久) 藤田和彦	所長		
5.		国土技術政策総合研究所	成瀬友宏	建築研究部 防火基準研究室 室長		
6.		国土技術政策総合研究所	鈴木淳一	建築研究部 防火基準研究室 主任研究官		
7.		国土技術政策総合研究所	水上点晴	建築研究部 防火基準研究室 主任研究官		
8.		日本ツーバイフォー建築協会	久) 木本勢也	技術部		
9.		日本木造住宅産業協会	久) 高木 郷	技術開発委員		
10.		日本建築総合試験所	小宮祐人	試験研究センター		
11.		三商株式会社	久) 加藤圭一	マテリアル事業部 製品開発室 副室長		
会員会社						
12.		株式会社オーシカ	池田尊子	中央研究所 技術主任		
13.		株式会社オーシカ	中井 聡	建材事業部		
14.		株式会社ウッドワン	牧野克己	構造システム営業部 東京分室		
15.		株式会社ウッドワン	石川純一	構造システム営業部 東京分室		
16.		株式会社ウッドワン	菅田啓子	技術開発部		
17.		丸菱油化工業株式会社	亀岡祐史	研究本部 主席研究員		
18.		株式会社ザイエンス	茂山知己	技術開発部 マネージャー		
19.		シネジック株式会社	寺澤正広	R&D推進室 リーダー		
20.		株式会社オロチ	久) 滝田哲也	品質管理部 課長		
21.		ニチアス株式会社	菅原公平	建材事業本部 担当部長		
22.		光洋産業株式会社	西尾直記	大阪支店		
23.		セメダイン株式会社	久住 明	技術部 専任部長		
24.		セメダイン株式会社	橋向秀治	技術部開発グループ グループリーダー		
25.		セメダイン株式会社	紺野 誠	技術部開発グループ 研究員		
オブザーバー						
26.		林野庁	竹本央記	林政部木材産業課木材製品技術室 課長補佐		
27.		林野庁	塩田 彩	林政部木材産業課木材製品技術室住宅資材企画係長		
28.		桜設計集団	加來千紘			
29.		ビルディングランドスケープ	春日広樹			
事務局						
30.		全国LVL協会	李 元羽	技術部長		
31.		全国LVL協会	成田敏基	技術課長		
項NO.	議 事 内 容					備 考
1.	審議事項					
	1. 前回議事録					
	2. 委員紹介・交代について					
	3. 被覆材の塗装について					
2.	報告事項					
	1. 昨年度事業報告					
	2. 今年度事業 と 大断面梁性能評価試験結果 (7/14)					
	3. 耐火構造事例紹介 (やはた幼稚園)					
	4. 1時間耐火 (柱) の樹種追加について					
3.	配布資料					資料1
	1. 前回議事録					資料2
	2. 事業報告書 (令和元年度 小断面梁開発)					資料3
	3. 開発目標 耐火構造チラシ					資料4
	4. 令和2年度林野庁事業 交付決定通知					資料5
	5. 令和2年度林野庁事業 提案内容					資料6
	6. 事業工程表					資料7
	7. 大断面梁 性能評価1体目@GBRC 報告書					資料8
	8. 大断面梁 化粧材運用のための確認試験試験体図 (案)					資料9
	9. 被覆材の塗装テスト (案)					
	10. 耐火柱樹種追加のための試験					
	11. 2020建築学会梗概 (耐火梁小断面)					
	12. 1時間耐火構造梁 (小断面) 別添					

発言者	項NO.	議 事 内 容	備 考
	1.	審議事項	
		1. 前回議事録の確認 承認された。	
		2. 委員紹介・交代について	
		3. 被覆材の塗装について 事務局で検討を進める。	
	2.	報告事項	
		1. 昨年度事業報告（林野庁事業） 昨年度林野庁事業で小断面梁の性能評価試験に合格。 大断面梁仕様を秋田県の水平炉で予備試験を行った。 LVL被覆耐火工法の概略を、作成したチラシで説明。 チラシは3000部作製、会員各社に送付して設計者に案内中。	
		2. 今年度事業（林野庁事業） と 大断面梁性能評価試験結果（7/14） 採択された林野庁事業において、大断面梁の性能評価試験を受けている。 7月の1体目は合格。2体目は9月を予定。 化粧材運用のための試験を10月に予定。 ＞化粧材付き試験を省略できないか？ やることになっているが、省略できないか要望。	
		3. 耐火構造事例紹介（やはた幼稚園） 山代様より、耐火柱を採用した都内の幼稚園の設計事例紹介。（別途資料） 被覆した耐火梁の配管貫通は可能か？	
		※LVL被覆材の今後の展開について 耐火構造における開口部（サッシ等）の、石膏ボードの代わりにビスが効く 耐火被覆材としての提案。（山代） 90分準耐火、120分準耐火での採用を見据えて、 60mm厚LVL被覆材が何分の加熱まで耐えられるかのデータ取り。（安井） ＞試験仕様や予算（林野、協会独自）との兼ね合いがあるので、別途事務局と関係者で検討。	
		4. 1時間耐火（柱）の樹種追加について（協会単独事業） 現状、柱はスギ・カラマツしか使えないので、会員会社が使う構造用LVLの樹種 （ラジアータパイン、ダフリカカラマツ）を荷重支持部材で使えるように 試験機関に要望。現状だと別途性能評価試験を行って認定番号を取らなくてはならないが 個別の樹種の炭化温度データ、および温度上昇が材料強度（曲げ）にあたるデータを取り スギと同等かそれ以上であることが確認できれば、性能協での燃え代委員会に提出して 認められる可能性がある。事務局では森林総研と強度データ取得に向けて動いている。 炭化温度データについては、日総試 小宮さんからデータの説明があった。	
		次回： 腰原先生と日程調整してから連絡。	